

JICAの追加支援について

JICA 中南米部 赤嶺 剣悟



Transformational Start Ups' Business Acceleration for the SDGs Agenda



「信頼で世界をつなぐ」

JICAは、開発途上国との信頼関係を特に重視し、
途上国と共に課題の解決に取り組んでいます。

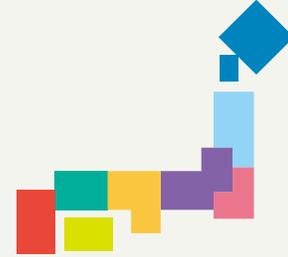


組織概要



海外拠点

96 力所



国内拠点

14 力所



職員数

1,929 人



援助対象

150 力国・地域

JICAの事業分野

技術協力

※1

日本の技術や経験を伝える専門家の派遣や、研修員・留学生の受け入れ

事業規模金額

1,751億円

有償資金協力

※2

開発途上国の国づくりに必要な資金を長期返済・低金利で貸し付け

事業規模金額

15,232億円

無償資金協力

※3

所得水準が低い国を主な対象として、返済しなくてもよい資金を提供

事業規模金額

856億円

JICA海外協力隊派遣、市民参加協力、移住者・日系人支援、国際緊急援助、調査・研究、民間連携事業

※1 有償資金協力勘定予算による技術支援等を含み、管理費を除く技術協力経費実績

※2 円借款、海外投融資(貸付・出資)の承諾額

※3 2019年度予算に基づく供与限度額を計上しているため、2019年度に贈与契約(G/A)が締結された案件の贈与契約締結額の総額とは一致しない

中東・欧州

協力実施国・地域

22カ国・地域

事業規模

1,371億円

地域別 事業規模

中南米・カリブ

協力実施国

29カ国

事業規模

1,222億円

アフリカ

協力実施国

49カ国

事業規模

1,001億円

アジア・大洋州

協力実施国

39カ国

事業規模

1兆840億円

Governmentコースの採択企業に追加支援を検討

Businessコース

対象企業

B to BまたはB to Cのビジネスモデルを前提にLACでの事業展開を検討

- 製品/サービスが商品化する前段階でも構わない
- 既にパートナーがおり、スケールアップをしたい企業についても支援を提供可能（要相談）

支援内容

Phase 1：アイデアブラッシュアップ、パートナー候補特定（オンライン面談）

Phase 2：パートナー候補とビジネスプランを議論（含渡航支援）※Phase 1完了企業のみ対象

ゴール

初期パートナーとビジネスプラン検討ができている

終了後の追加支援

IDB Labによる追加支援の可能性を検討

- Phase 2終了時点でIDB Labが検討可否を判断

Governmentコース

JICAが示す重点課題領域やJICA協力事業の効果増大に貢献するソリューションを有し、B to Gのビジネスモデルを想定する企業

- JICAが提示する領域や案件の該当企業を対象
- 既に国内外での実証が完了・販売実績を有するなど、ソリューションが確立済みであることが要件

Phase 1：JICA協力事業との連携や相手国政府/政府関係機関との実証実施に向けたスキームの整理

Phase 2：相手国との協議支援（含渡航支援）

相手国政府/政府関係機関との連携可能性の確認ができている

JICAによる追加支援の可能性を検討

- 支援プログラム終了時点で判断
- 但し、相手国政府が絡むため、実現まではBusinessコースに比べて相応の時間を要する点に要留意

大きく2つの追加支援の可能性

①個別協力事業の効果増幅

②個別協力事業に紐づかない
革新的なアプローチの検証

①個別協力事業の効果増幅

支援内容

JICAとし
での狙い

JICA協力事業の効果増幅

支援内容

JICA協力事業での連携に向けた相手国政府との協議支援

- 採択済の協力事業での連携に向けた相手国政府を含むステークホルダーとの継続的な協議

支援条件

TSUBASAプログラム内での以下の達成

- 協力事業の効果増幅に値するアイデアをJICAと形成できている
- 現地政府から協力アイデアに対する前向きな回答を得られている

対象とする案件・分野

ボリビア

「コチャバンバ県における統合水資源管理実践能力強化プロジェクト」（技術協力）

事業概要：ロチャ川流域の水不足、水質汚濁、洪水リスク等の課題改善に向けて、コチャバンバ県庁が水に関わる機関との連携・協力強化を図り、統合水管理を行う能力強化を図る。

[【ボリビア・水資源】水の管理をみんなで考える - YouTube](#)

期待されるスタートアップ／企業との連携：

- ①市民参加型環境モニタリング（例えば、生物指標を用いたスマホアプリによる現状評価、環境啓発）
- ②低コストの発生源の汚濁対策（家庭排水、産業排水）
- ③半乾燥地域での節水農業（効率的な灌漑など）

②個別協力事業に紐づかない革新的なアプローチの検証

支援内容

JICAとしての狙い

現地政府に対する協力への革新的なアプローチの導入可能性の模索

支援内容

現地政府との実証支援

- 現地政府との実証に対する資金支援



- JICAとコンサルタント（DI・BVC）による実施サポート・メンタリング
- 実証後の連携に関する協議

支援条件

TSUBASAプログラム内での以下の達成

- JICAとして今後現地政府への協力アプローチとして検討しうるアイデアを形成できている
- 現地政府から実証実施に対する前向きな回答を得られている

対象とする主な案件・分野

国	分野	期待する技術
メキシコ	農業	①小規模農家の農業収益改善 ②土壌分析・改良、病虫害対策 ③加工・販売・マーケティング強化
パナマ	農業	①生産・販売段階での食品ロス削減 ②マーケットインテリジェンスの強化 ③品種・土壌改良や効率的な水の利用・管理 ④安全性・品質向上 ⑤果実栽培強化
中米／カリブ	環境	①サルガッサムの処理・再利用・商品開発。②サルガッサム分布モニタリング・漂着予測システム構築など。③サルガッサムの回収・運搬。
ドミニカ共和国	農業	フードバリューチェーン（①生産②加工③貯蔵④流通⑤マーケティング）におけるAI・IoT・アプリ・ロボット・Fintech等のデジタル技術活用
ブラジル	農業	①劣化農地の畑地転換のための土壌改良技術、②低炭素農業に貢献する炭素貯留及びモニタリング技術、③Bio生産資材、④精密農業技術
ボリビア	農業	農産物加工・農産物残渣の商品化
ペルー	農業/環境/交通等	農業バリューチェーン強化/小規模コンポスト/インフラ劣化診断/遠隔地医療/遠隔地教育

応募にあたって

Governmentコース 課題紹介セミナー

Governmentコースの応募対象とするODA案件や課題についてオンラインでの説明会を実施します

- 日時：10月12日（木）8:00-9:30 開催予定
- 実施方法：オンライン
（録画の一般公開配信は致しません。参加が難しい方は応募フォームから録画の配信依頼を実施ください）
- 申し込み：TSUBASA特設サイトより申し込み

事前応募相談

応募にあたってオンラインでの事前相談を受け付けます

- 実施期間：公募開始まで
- 実施方法・時間：1社15分程度を想定、オンライン
- 申し込み：TSUBASA特設サイトより申し込み